

番号 1

本書のとおり、市民意識調査を予定しております。

御意見等ありましたら、別紙へ記入願います。

匝瑳市男女共同参画に関する市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、「男性も女性もお互いを尊重し、支え合い、みんなが幸せに暮らせる社会をめざす」ことを基本理念とする「第2次匝瑳市男女共同参画計画」を平成29年2月に策定し、男女がお互いを尊重し合い、個性が生きる“男女共同参画社会”を目指して、さまざまな取り組みを実施してまいりました。

このたび、「第3次匝瑳市男女共同参画計画」の策定を進めていくために、本調査を実施いたします。本調査は、皆様の意識や実態を把握するもので、調査結果は、今後の市の事業を検討するうえでの基礎資料といたします。

匝瑳市にお住まいの満20歳以上の方から2,000人をお無作為に抽出させていただいた結果、あなた様が対象になりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、記入内容につきましては、無記名でお願いし、調査結果はコンピュータにより統計的に処理いたします。個人の名前が公表されることはありませんので、お考えのままをご記入ください。

令和2年11月

匝 瑳 市

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は、封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
- ・令和2年11月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を()内に指定していますので、ご注意ください。
- ・設問によって、回答していただく方が限られる場合がありますので、設問の注意書きをご確認ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月20日(金)までにご返送くださいますようお願いいたします。(切手は不要です。)

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

〒289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2 匝瑳市役所 企画課 企画調整班

電 話 : 0479-73-0081 F A X : 0479-72-1114

e-mail : k-kikaku@city.sosa.lg.jp

(1) あなた自身のことについて

F 1 あなたの性別をお答えください。答えたくない方は、「3. その他」に○を付けてください。
(いずれかに○)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上 |

F 3 あなたの主な職業をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|----------------|-------------|-------------|--------|
| 1. 農業 | 2. 漁業 | 3. 商工業 | 4. 自営業 |
| 5. 会社員 | 6. 公務員・団体職員 | 7. 専業主婦・主夫 | 8. 学生 |
| 9. パート・アルバイトなど | 10. 無職 | 11. その他 () | |

F 4 あなたの家族構成をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ(一世代家族) |
| 3. 親と子ども(二世代家族) | 4. 親と子どもと孫(三世代家族) |
| 5. その他(具体的に:) | |

(2) 男女平等に関する意識について

問1 あなたは、次のA～Hのそれぞれの項目について、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つに○)

項目	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇さ れている	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇さ れている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
A. 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
B. 地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
C. 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
D. 職場では	1	2	3	4	5	6
E. 政治の場では	1	2	3	4	5	6
F. 法律や制度上では	1	2	3	4	5	6
G. 社会通念・慣習では	1	2	3	4	5	6
H. 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問1-1へ

問1の「H. 社会全体では」の項目で、「1」または「2」と回答した方のみお答えください。

問1-1 社会全体の中で、男性のほうが優遇されていると思う原因は何だと思いますか。

(3つまでに○)

1. 男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりが根強い
2. 「男は仕事」という社会的風潮があり、仕事優先の考え方が根強い
3. 男女の平等について男性の問題意識がうすい
4. 男女の平等について女性の問題意識がうすい
5. 男女の差別を人権問題としてとらえる意識がうすい
6. 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分ではない
7. 能力を発揮している女性を正当に評価する仕組みが十分ではない
8. 育児、介護などを男女が共に担うための制度やサービスなどが整備されていない
9. 女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると考える人がいる
10. その他()

問2 あなたは、次のA～Iのそれぞれの用語についてご存知ですか。(それぞれ1つに○)

項目	よく知っています	少しは知っています	聞いたことがあ	知らない
A. 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
B. 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
C. 女子差別撤廃条約	1	2	3	4
D. ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)	1	2	3	4
E. セクハラ(セクシャル・ハラスメント)	1	2	3	4
F. DV(ドメスティック・バイオレンス)	1	2	3	4
G. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3	4
H. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3	4
I. 女性活躍推進法	1	2	3	4

(3) 男女の役割分担について

問3 次に掲げる考え方について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ1つに○)

項目	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	い ど ち ら と も い え な
A. 男は仕事、女は家庭	1	2	3	4	5
B. 性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい	1	2	3	4	5
C. 性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である	1	2	3	4	5

問4 あなたは結婚されていますか。(1つに○)

1. 未婚

2. 既婚(入籍せずパートナーと暮らしている方を含む)

3. 離別・死別

問4-1、
問4-2へ

問4-1・問4-2は、問4で「2」と回答した方のみお答えください。

問4-1 あなたの家庭では、次のA～Lのそれぞれの項目について、どなたの役割になっていますか。
(それぞれ1つに○)

項目	主に夫	主に妻	家族で分担	その他の人 (男性)	その他の人 (女性)	該当しない
A. 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
B. 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6
C. 掃除	1	2	3	4	5	6
D. 洗濯	1	2	3	4	5	6
E. ごみ出し	1	2	3	4	5	6
F. 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5	6
G. 地域行事などへの参加	1	2	3	4	5	6
H. 乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6
I. 家族の介護	1	2	3	4	5	6
J. 子どもの勉強やしつけ	1	2	3	4	5	6
K. 学校行事への参加	1	2	3	4	5	6
L. 役所等への用事・書類の作成	1	2	3	4	5	6

問4-2 あなたの家庭では、次のA～Lのそれぞれの項目について、あなたはどなたの役割になることが理想と考えますか。(それぞれ1つに○)

項目	主に夫	主に妻	家族で分担	その他の人 (男性)	その他の人 (女性)	該当しない
A. 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
B. 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6
C. 掃除	1	2	3	4	5	6
D. 洗濯	1	2	3	4	5	6
E. ごみ出し	1	2	3	4	5	6
F. 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5	6
G. 地域行事などへの参加	1	2	3	4	5	6
H. 乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6
I. 家族の介護	1	2	3	4	5	6
J. 子どもの勉強やしつけ	1	2	3	4	5	6
K. 学校行事への参加	1	2	3	4	5	6
L. 役所等への用事・書類の作成	1	2	3	4	5	6

問5 あなたが平日、次のことに使う時間はどれくらいですか。__に時間をご記入ください。

1. 家事の時間	1日当たり平均	_____時間	_____分
2. 育児の時間	1日当たり平均	_____時間	_____分
3. 介護の時間	1日当たり平均	_____時間	_____分
4. 仕事の時間(通勤時間を含む。)	1日当たり平均	_____時間	_____分
5. 趣味の時間	1日当たり平均	_____時間	_____分

(4) 仕事について

問6 あなたがお考えになる「女性の仕事や結婚についての理想像」は、次のどれに最も近いですか。(1つに○)

1. 結婚をせずに、仕事を続ける	2. 結婚はするが、出産はせず、仕事を続ける
3. 結婚をし、出産をし、仕事も続ける	4. 結婚を機に仕事をやめて家庭に入る
5. 出産を機に仕事をやめて家庭に入る	
6. 結婚を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く	
7. 出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く	
8. 仕事には就かずに家庭に入る	9. わからない
10. その他(_____)	

問7 女性が仕事をもち続けるうえで、障害となっているものは何だと思いますか。(3つまでに○)

1. 女性の雇用機会や採用数が男性より少ないこと
2. 長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと
3. 職場での結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと
4. 保育施設や保育制度が不十分なこと
5. 家族の理解が得られないこと
6. 子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされること
7. 仕事と家事の両立がむずかしいこと
8. 特にない
9. その他 ()

問8 雇用の場への女性の進出が進む中で、女性が働きやすい環境をつくるため、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 再雇用制度の促進
2. 保育施設や保育サービスの充実
3. 産後休暇明け・育児休業明けの保育体制の充実
4. 育児休業制度の定着促進
5. 介護、看護との両立を支援する制度の整備
6. 昇進、昇給や仕事の分担など労働の場での男女平等の促進
7. 男性の家庭生活（家事・育児・介護など）への参加促進
8. 家事の省力化、外部化などによる家事負担の軽減
9. その他 ()
10. わからない

問9・問10は、現在、働いている方のみお答えください。

問9 あなたは機会があれば管理職になりたいと思いますか。(1つに○)

1. になりたい
2. どちらかといえばになりたい
3. どちらかといえばなりたくない
4. なりたくない
5. すでに管理職である
6. どちらでもよい
7. その他 ()

問10 あなたの職場では、有給休暇や育児休業などを取りやすい環境にありますか。(それぞれ1つに○)

項目	取りやすい	やすい い え ば 取 り	ど ち ら か と	に く い い え ば 取 り	ど ち ら か と	取 り に く い	い え な い	ど ち ら と も	制 度 が な い	わ か ら な い
A. 有休休暇	1	2	3	4	5	6	7			
B. 育児休業	1	2	3	4	5	6	7			
C. 介護休業	1	2	3	4	5	6	7			

現在、働いている方で職場に育児休業制度がある方のみお答えください。

問 11 あなたは、機会があれば育児休業を取りたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 取りたい | 2. どちらかといえば取りたい |
| 3. どちらかといえば取りたくない | 4. 取りたくない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

現在、働いていない方のみお答えください。

問 12 あなたが働いていない理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 家事との両立が困難だから | 2. 子育てとの両立が困難だから |
| 3. 介護との両立が困難だから | |
| 4. 希望する勤務条件(時間、場所、給与など)の仕事がなかったから | |
| 5. 求職しているが仕事が見つからないから | 6. 経済的に働く必要がないから |
| 7. 年齢面の制約のため | 8. 健康面の理由から |
| 9. 配偶者(パートナー)など家族が望まないから | 10. 定年退職したから |
| 11. その他() | |
| 12. 特に理由はない | |

問 13 あなたは、女性が職場において活躍するために、どの情報が特に必要になると感じますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 保育所幼稚園、子ども園に関する情報(場所、保育料など) | |
| 2. 放課後児童クラブに関する情報(場所、利用料など) | |
| 3. 介護・家事の支援サービスに関する情報(内容、利用方法など) | |
| 4. 就職・再就職のための職業訓練に関する情報(利用方法、相談先など) | |
| 5. 起業・NPO活動のための情報(支援内容、相談先など) | |
| 6. 仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報(内容、利用方法など) | |
| 7. 出産・育児などを経ながら就業を継続している女性のモデル事例に関する情報 | |
| 8. 積極的に家事・育児に参画する男性のモデル事例に関する情報 | |
| 9. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進や、働き方の見直しの実践例に関する情報 | |
| 10. その他() | |
| 11. 特にない | 12. わからない |

(5) 社会への参画について

問 14 次の地域活動の中で、「現在参加しているもの」「今後参加したいもの」について、それぞれ選んでください。(あてはまるものすべてに○)

(14-1) 現在参加している地域活動	(14-2) 今後参加したい地域活動
1. スポーツ・サークル活動	1. スポーツ・サークル活動
2. 奉仕活動、福祉活動	2. 奉仕活動、福祉活動
3. 文化、教養、学習活動	3. 文化、教養、学習活動
4. 自治会	4. 自治会
5. 婦人会	5. 婦人会
6. 老人クラブ	6. 老人クラブ
7. 子ども会活動	7. 子ども会活動
8. 消費者活動、住民運動	8. 消費者活動、住民運動
9. PTA活動	9. PTA活動
10. 政治活動	10. 政治活動
11. その他 ()	11. その他 ()

問 15 これまで男性は、比較的、家庭生活(家事・育児・介護など)や地域活動への参加が少なかったと言われていますが、男性の参加を促進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまでに○)

1. 男性の家庭生活や地域活動への参加を促進するための啓発活動を行う
2. 地域活動に関する情報提供を積極的に行う
3. 労働時間を短くして余暇を増やす
4. 仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する
5. 企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する
6. 男性の家事・育児・介護などに関する技能を高めるような講座を開催する
7. わからない
8. その他 ()

問 16 自治会やPTAなどの活動で、女性のリーダーが少ないようですが、その原因は何だと思いますか。(2つまでに○)

1. 責任ある地位につきたくないから
2. 家事・育児に忙しく、地域活動に専念できないから
3. 組織活動の経験が少ないから
4. 指導力のある女性が少ないから
5. 女性がリーダーでは女性がついてこないから
6. 女性がリーダーでは男性がついてこないから
7. 女性がリーダーでは軽く見られるから
8. 男性がリーダーとなるのが社会慣行だから
9. わからない
10. その他 ()

(7) 少子化対策について

問 22 出生率が低くなった主な原因として何が考えられると思いますか。(3つまでに○)

1. 男女とも「結婚して子育てをする」こと以外に生きがいや価値観を見出す人が増えたから
2. 子育てより仕事や余暇の充実を求める人が増えたから
3. 女性の社会進出が進み、子育てよりも仕事に生きがいを見出す女性が増えたから
4. 結婚年齢が高くなったから
5. 出産・子育ては経済的に負担が大きいから
6. 子どもは少なく生んで、十分に手をかけて育てる人が増えたから
7. 労働環境などを含めて、仕事と子育てを両立させる社会的な仕組みが整っていないから
8. 出産後の職場復帰がむずかしいから
9. 住宅や公園など、子育てに望ましい住環境が整備されていないから
10. いつでもだれでも利用できる子育て支援サービスが整っていないから
11. 地域での付き合いが減り、身近で子育てを支えてくれる人がいなくなったから
12. 地球環境や社会の動向に対して、漠然とした不安を感じる人が増えたから
13. 出産・子育てに対する夫の理解・協力が足りず妻の精神的・肉体的負担が大きいから
14. 様々な理由で「結婚したくてもできない人」や「結婚しない人」が増えたから
15. わからない
16. その他 ()

問 23 出生率を上げるために行政が推進すべき施策として何が重要だと思いますか。(3つまでに○)

1. 保育内容の拡充(時間延長や一時保育、病後児保育など)
2. 自宅に子育て支援者を派遣する子育てヘルパーサービスの実施
3. 出産手当や児童手当の増額
4. 保育所などの保育料を補助する
5. 教育費・住宅費・衣食費などを補助する
6. 子どもがのびのびと遊べる場づくり
7. 地域の子育てネットワークづくり
8. 出産・子育てを相談できる窓口の整備
9. 柔軟な勤務体制の導入を推進
10. 育児休業をとりやすい雰囲気づくりを推進
11. 男性の家事や育児への参加を啓発する
12. パートナーとの出会いの場づくりの支援
13. わからない
14. その他 ()

(8) 高齢者介護について

問 24 あなたはご自分の老後について、不安に思うことは何ですか。(3つまでに○)

1. 働きたくても仕事がないこと
2. 配偶者(パートナー)に先立たれること
3. 子どもが世話してくれるかどうかわからないこと
4. 適当な話し相手がないこと
5. 適当な趣味がないこと
6. 介護してくれる人がいるかどうかわからないこと
7. 生活費のこと
8. 健康のこと
9. 住居のこと
10. その他 ()
11. 特に不安はない

